

**2025年9月作成（第0104版）

*2024年9月作成（第0103版）

類別：機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 脊椎手術用器械 70963001

販売名：脊椎用手術器械 L (X)

【警告】

- ・本品の使用にあたりこの添付文書を事前に理解すること。
- ・また、患者の安全に細心の注意を払い添付文書にしたがって使用すること[重篤な不具合、有害事象が発生する恐れがある]
- ・使用前には滅菌を行うこと。
- ・使用前に器具の破損、折損等がないことを確認すること。

【禁忌・禁止】

- ・本品を曲げ、切削、打刻（刻印）等の二次加工（改造）することは、折損等の原因となるので絶対に行わないこと。
- ・弊社が指定した製品以外との併用はしないこと。
- ・目的以外では使用しないこと[誤った使用方法は器具の破損を招く原因となる]。

【形状・構造及び原理等】

***組成**

ステンレススチール、チタン、アルミニウム、樹脂

形状

製品名：ヘッドポジショナー



製品名：5.5 ロッドプッシャー



製品名：セットスクリュードライバー



製品名：セットスクリュードライバーシャフト・T30



製品名：ロッドプッシャー/カウンタートルク



製品名：ロッドプッシャー/カウンタートルク・L型



製品名：リダクションプレーカー



製品名：サウンダーS



製品名：サウンダーH



製品名：T25 スクリュードライバー・SG



製品名：TC カウンターレンチセンター



製品名：TC カウンターレンチロッド



製品名：TC用 T15SS トルクドライバー・シャフト



製品名：T30 セットスクリュードライバー



製品名：ロッドアライメントシャフト



製品名：TCホルダー



製品名：5.5 ロッドプッシャー/カウンタートルク・T型



製品名：ロッドゲージ



製品名：ヘッドインサーター・リムーバルシャフト XM



製品名：ヘッドインサーター・シース XM



製品名：T30 リムーバルセットスクリュードライバー



製品名：リダクションリング



製品名：T25 スクリュードライバーシャフト



製品名：ワイドコンプレッサー



製品名：コンプレッサ



製品名：ヘッドインサーター・シース N



製品名：レンケプローブ



製品名：タップスリーブ



製品名：プローブ・ストレート(太)・S



製品名：KP スクリューゲージ



製品名：ヘッドポジショナーBP



製品名：スクリュードライバーK5XM



製品名：セットスクリューインサーターシャフト・T30



製品名：セットスクリューインサーターT30・SG



製品名：φ5.5 ロッドプッシャーSG



製品名：リングキュレット、8 mm S0

製品名：リングキュレット、8 mm R1

製品名：リングキュレット、8 mm L2



製品名：パースエーダーPG



*製品名：KPTRC サイザー



**製品名：プローブ・ストレート(太)WL

**製品名：プローブ・ストレート(細)WL



**製品名：プローブ・カーブ(太)WL



**製品名：ソラシックプローブ・カーブ(細)WL



**製品名：ソラシックプローブ・ストレート WL



**製品名：タップφ5.5WL



**製品名：タップφ6.5WL



原理

本品を使用し、適切なサイズの脊椎固定用インプラントを物理的な処理により設置する。

【使用目的又は効果】

本品は、脊椎固定術等の脊椎手術に用いる手術器械であり、手動式である。なお本品は再使用可能である。

【使用方法等】

使用前

本品のご使用前は必ず点検を行い、洗浄、滅菌を行ってください。

滅菌方法

本品は未滅菌品のため、使用の際は下記の条件または各医療機関により検証された滅菌バリデーションの滅菌条件により滅菌を行うことを推奨する。

標準的滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌法（日本薬局方）

| 滅菌温度 | 保持時間 |
|-------------|------|
| 115°C~118°C | 30分 |
| 121°C~124°C | 15分 |
| 126°C~129°C | 10分 |

上記の条件は滅菌後の製品の無菌性を保証するものではない。滅菌後の無菌性の保障については、各医療機関の責任の下、行うこと。

使用方法

ヘッドポジショナー

刺入されたスクリューのヘッド部に先端を挿入し、スクリューの位置を調整する。

5.5 ロッドプッシャー

先端を脊椎ロッド上に設置し、脊椎ロッドを押さえ込むために使用する。

セットスクリュードライバー

セットスクリューを仮締結する。

セットスクリュードライバーシャフト・T30

トルクレンチハンドルと組み合わせセットスクリューの最終締結を行う。

ロッドブッシャー/カウンタートルク
先端部をロッド、スクリューヘッド部に設置し、セットスクリュー最終締結時のワイパーモーション防止に使用する。

ロッドブッシャー/カウンタートルク・L型
先端部をロッド、スクリューヘッド部に設置し、セットスクリュー最終締結時のワイパーモーション防止に使用する。

リダクションプレーカー
セットスクリュー装着後、不要なスクリューヘッド部分を除去するために使用する。

サウンダーS
椎体に開けたスクリュー刺入孔に沿って先端部分の球状部で骨壁を探りながら、適切な角度、深さに開孔されているか確認する。

サウンダーH
椎体に開けたスクリュー刺入孔に沿って先端部分の球状部で骨壁を探りながら、適切な角度、深さに開孔されているか確認する。

T25 スクリュードライバー・SG
脊椎用スクリューを挿入する際に使用する。

TC カウンターレンチセンター
トランスバースを固定する際に、ワイパーモーション防止に使用する。

TC カウンターレンチロッド
トランスバースとロッドを固定する際に、ワイパーモーション防止に使用する。

TC 用 T15SS トルクドライバー・シャフト
セットスクリューを固定する際に使用する。

T30 セットスクリュードライバー
セットスクリューを固定する際に使用する。

ロッドアライメントシャフト
脊椎ロッドのアライメント調整を行う。

TCホルダー
トランスバースを装着し、適切な位置に設置する際に使用する。

5.5 ロッドブッシャー/カウンタートルク・T型
先端部をロッド、スクリューヘッド部に設置し、セットスクリュー最終締結時のワイパーモーション防止に使用する。

ロッドゲージ
ロッドを計測するために使用する。

ヘッドインサーター・リムーバルシャフト XM
ヘッドインサーター・シース XM
組み合わせて使用し、スクリューヘッドの固定解除に使用する。

T30 リムーバルセットスクリュードライバー
セットスクリューを取り外す際に使用する。

リダクションリング
リダクションタブに被せてリダクションスクリューにセットスクリューをセットする際に、リダクションタブが広がらないようにする。

T25 スクリュードライバーシャフト
脊椎用スクリューを挿入する際に使用する。

ワイドコンプレッサー
脊椎スクリュー間、又は脊椎プレート及び移植骨間（頭尾側方向）にコンプレッションをかけるために使用する。

コンプレッサー
脊椎スクリュー間、又は脊椎プレート及び移植骨間（頭尾側方向）にコンプレッションをかけるために使用する。

ヘッドインサーター・シース N
スクリューヘッドの固定解除に使用する。

レンケブローブ
スクリュー刺入孔の下孔作成に使用する。

タップスリーブ
スクリュー孔をあける際にタップをガイドする。

プローブ・ストレート（太）・S
スクリュー刺入孔の下孔作成に使用する。

KP スクリューゲージ
椎体に刺入予定のスクリューをあてがい、長さ・径の確認を行う。

ヘッドポジショナーBP
先端を椎体に刺入されたスクリューヘッドに嵌め込み、ヘッド位置の調整を行う。

スクリュードライバーK5XM
脊椎用スクリューを挿入する際に使用する。

セットスクリューインサーターシャフト・T30
所定のハンドルと組み合わせて、セットスクリューを固定する際に使用する。

セットスクリューインサーターT30・SG
セットスクリューを挿入する際に使用する。

φ5.5 ロッドブッシャーSG
ロッドをスクリューヘッドに押し込む際等に使用する。

リングキュレット、8 mm S0
リングキュレット、8 mm R1
リングキュレット、8 mm L2
インプラント設置の為の母床作製の際等に使用する。

パースエーダーPG
スクリューヘッド内にロッドを押し込む際に使用する。

*KPTRC サイザー
先端を椎体に設置されたロッドにあてがい、適切なトランスバースコネクターのサイズを決定する際に使用する。

**プローブ・ストレート（太）WL
**プローブ・ストレート（細）WL
**プローブ・カーブ（太）WL
**ソラシックプローブ・カーブ（細）WL
**ソラシックプローブ・ストレート WL
スクリュー刺入孔の下孔作成に使用する。

**タップφ5.5WL
**タップφ6.5WL
各サイズのスクリューに合わせて椎体にタップを切る。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・使用前は必ず洗浄・滅菌（【保守・点検に係る事項】参照）すること。
- ・神経や血管近くで器械を使用する場合には、必要以上の負荷を加えて患者に損傷を与えないよう十分に注意すること。
- ・器械はその物理特性上、体内に埋植可能な材質で製造することができないため、術野内で器械が破損した場合には、その破片をすべて除去すること[腐食やアレルギー、感染症を引き起こす原因となる可能性がある]。
- ・本品使用に際し、使用目的、手術手技及びその手順において十分に熟知した医師のみが使用すること。
- ・器械の破損、誤使用が、患者または手術従事者を傷つける原因となる可能性がある。
- ・使用目的に応じた器械の使い方であっても、無理な使い方をしないこと。使用時に異常を感じた場合は直ちに使用を止めること。破損・脱落の可能性がある。
- ・本品の先端部に無理な応力を加えた操作を行わないこと。[変形・破損のおそれがある]。
- ・滅菌は正しく整備・校正及びバリデーションされた滅菌器を使用して、前記の滅菌法に従って行うこと。
- ・術前、術中及び術後にわたり感染症の予防処置十分に行うこと[術後感染が生じるおそれがある]。感染症が発生した場合には、適切な処置を行うこと。
- ・使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥する前に洗浄液等に浸漬すること。
- ・塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、器械の腐食及び脱色の原因となるため、できるだけ使用を避けること。使用中に付着した場合は水洗いすること。
- ・強アルカリ/強酸性洗剤・消毒剤は、器械を腐食及び脱色させる恐れがあるため、原則として使用を避けること。また、金属製のたわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するため、汚物除去及び洗浄時に使用しないこと。
- ・本品がハイリスク手技に使用された場合には、「プリオン病感染予防ガイドライン」（整形外科治療の章）に従った洗浄、滅菌を実施すること。
- ・本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に直ちに連絡すること。

相互作用

併用禁忌

電気メスを用いた接触凝固は、術者又は患者が感電、火傷をする危険性があり、また器械の表面を損傷するため、本品とともに電気メスは使用しないこと。

不具合

本品の使用により、他の類似する脊椎手術用器械と同様に以下の不具合が起こりうる。

重大な不具合

- ・血管損傷、神経損傷、体調機能不全、膀胱機能不全、勃起不全、射精不全、感覚異常を含む神経障害
- ・早期感染あるいは遅発性感染症
- ・手術器械を適切に洗浄、滅菌しなかった為に起きる感染症
- ・手術器械のすべりや誤配置による周辺の血管・神経の損傷、内臓の穿孔
- ・空気・血管凝固等による塞栓
- ・過敏症
- ・麻痺

有害事象

本品の使用により、他の類似する脊椎手術用器械と同様に以下の有害事象が起こりうる。

重大な有害事象

- ・器械の適切な洗浄、滅菌を怠ったために起きる感染
- ・神経の損傷、麻痺、疼痛、軟部組織等の損傷
- ・折損や破損による体内遺残

上記の項が不具合、有害事象の全てではない。これらの不具合、有害事象のため、再手術が必要な場合もある。

高齢者への適用

高齢者は、骨が骨粗鬆化している場合が多く、術中に過度の力を加えることにより、骨折したり、インプラント埋植後にゆるみ等が起きる可能性があるため、慎重に使用すること。

【保管方法及び有効期限等】

保管方法

本品は、常温常湿にて清潔な場所に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・本品使用前に、きず、割れ、さび、ひび割れ、先端部等の異常がないか点検を実施すること。
- ・本品使用前後に、必ず洗浄・滅菌を行うこと。
- ・強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けること。洗浄にはやわらかいブラシ、スポンジ等を使用し、金属たわし、クレンザー（磨き粉）は器具の表面が損傷するので汚染除去及び洗浄時の使用はしないこと。
- ・汚染除去に使用する洗剤は、必ず医療用洗剤等、本品の洗浄に適したものを使用すること。
- ・本品使用後は、できるだけ早く以下の方法に従って、洗浄、すすぎ等の汚染除去を行い、血液等異物が付着していないことを目視で確認したのち、以下の滅菌方法及び滅菌条件で滅菌を行い保管すること。（【使用方法等】の滅菌方法及び滅菌条件参照）

【主要文献及び文献請求先】

文献請求先

シエルハメディカル株式会社
住所：〒391-0011 長野県茅野市玉川 2123-2
電話番号：0266-78-3299 Fax 番号：0266-78-3298

【製造販売業者及び製造業者の名称】

製造販売業者・製造業者
シエルハメディカル株式会社
電話番号：0266-78-3299 Fax 番号：0266-78-3298